



事務事業名	筑波ブロック広域観光連絡協議会参画事業	事務事業No.	40302000572	所属課	商工観光課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
昭和49年に筑波山周辺地域の連携強化による観光振興など目的とし、首都圏からの交流人口を誘引するために結成した。 つくばエクスプレス開業などにより、近年は筑波山登山客や観光レジャー客が増加している。 年2回ワンテーパーンは成果の向上が見られないため、桜川市では平成26年度から実施していない。令和5年3月に解散。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
広域連携し、誘客につなげてほしい。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 筑波山地域の周辺自治体が連携し、筑波山周辺に訪れる観光客や登山者に市の観光PRをする事業であり、市の政策体系に結びついている。令和5年3月に解散。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 首都圏の観光客や筑波山登山客に筑波山地域の観光を広域的にPRする事業であり、桜川市のPRになっている為妥当である。令和5年3月に解散。	
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない この協議会の事業である自主事業や共同事業を利用し、更に市の観光資源のPRに努める。令和5年3月に解散。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 協議会事業のため、廃止、休止した場合には桜川市の観光振興として影響がある。令和5年3月に解散。	
⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	
<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 令和5年3月に解散したため、連携できない。	
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 協議会事業のため、単独決定はできないが検討はしていく。令和5年3月に解散。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 筑波山地域周辺に訪れる観光客または首都圏に対し筑波山地域の観光をPRすることにより、桜川市の観光客誘致に繋がり、市の活性化を目的とした事業であるため公平である。令和5年3月に解散。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
① 目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ② 有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③ 効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④ 公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	⇨	R3年度から、負担金については徴収しないことで、構成する5市の意見が一致している。 会議等が書面開催となっており、他加盟市との情報交換や市の観光PRの機会が減少した。 R5年3月に解散した。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 □ 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 □ 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持																			
		<input type="checkbox"/> 目的の再設定 □ 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 □ 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる □ 連携ができる																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加										
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <span style="float: right;">⑧</span>																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> C A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	令和5年3月をもって廃止事業とする。 確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認